

2 学年だより 第4号 2021.6.30 発行

1 学期も残り 3 週間となりました。明日から期末考査が始まり、1 学期の成績が決まります。6 月は、インターハイ県大会や東北大会、また県総体が行われました。早い部では 3 年生が引退し、2 年生が主力となりました。6 月は 3 年次の選択科目決定を通して自分の進路を考えることができました。1 年後の今頃は、就職の求人票が公開され、就職したい会社の選択や入試の願書提出の準備が始まります。

6 月の様子

①先輩が教育実習を行いました

5 月 31 日よりみなさんの先輩 5 人が教育実習を行いました。授業だけでなく、先輩の高校時代の経験を聞く機会もありました。

②キャリアガイダンス

6 月 16 日(水) LHR は働くことについての講話がありました。

○10 年後の社会に求められる力「自ら課題を発見し、解決していく力」

社会で働く＝課題を発見し、解決することで、理想とする姿を実現すること

○未来に向けて今から大切にしたいこと

いろいろな物事に対して「なぜ？」と考えてみる。同じ事でも視点を変えると見方が変わる。

○課題を発見し、解決するとその先には必ず「うれしいと感じる人」がいる。だから、課題を発見し解決することには価値がある。

課題発見も、解決策も、何一つ正解はない。自分で正解を作り出すことが大事。

○「言われたことだけするのは当たり前、社会に出たら、言われなくてもやらないといけない」

その後、学習の振り返りとして、自分の 3 月からのスタサブ講義動画による学習の進捗状況の振り返りを行いました。

まとめ

日々の学びや誰に共感するかによって、世界の見方が変わる。

課題発見・解決能力＋自ら主体的に考え行動する。

私だから発見できる課題がある。身の回りの観察を始めよう。

自分ならどんな未来を作り、誰を幸せにしたいか考えよう

③全国大会出場おめでとう！

馬術部(7/18～21 静岡県) 陸上競技部(7/30～8/2 福井県)

商業研究部(7/23) 情報処理部(7/24～25 広島県) ワープロ部(8/2～4 愛知県)

各種大会

県総体

弓道(7/1.2) ハンドボール・剣道(7/2.3.4) 柔道(7/3.4) テニス(7/2.3.4.5)

バレーボール(7/8.9.10.11) フェンシング(7/10.11)

吹奏楽コンクール支部大会(7/10) 高校野球県大会(7/7～11、7/15～25)

県北図書館研究会(7/6) 県高校生徒商業研究大会(7/29.30)

<p>7月の予定</p> <p>1日(木) 期末考査(～7/6)</p> <p>4日(日) ビジネス文書実務検定</p> <p>6日(火) 選手壮行会</p> <p>11日(日) 全商ビジネスコミュニケーション検定</p>	<p>13日(火) 公務員講座</p> <p>20日(火) 終業式 選手壮行会 成績懇談会</p> <p>8/23(月) 修学旅行保護者説明会 (とうほうみんなの文化センター)</p> <p>8/26(木) 始業式 課題テスト</p>	<p>7月のカウンセラー来校日</p> <p>7月 7日(金)</p> <p>7月 16日(金)</p> <p>7月 20日(金)</p>
--	---	---

声に出して読んでみよう！

「人の心」

もし君が負けると“考えるなら” 君は負ける

もし君がもうダメになると“考えるなら” 君はダメになる

もし君が勝ちたいと思う心の片隅で無理だと“考えるなら” 君は絶対に勝てない

もし君が失敗すると“考えるなら” 君は失敗する

世の中を見てみる 最後まで成功を願い続けた人だけが成功しているのではないか

すべては「人の心」が決めるのだ

もし君が勝てると“考えるなら” 君は勝つ

向上したい“自信を持ちたい” もし君がそう願うなら 君はその通りの人になる

さあ再出発だ 強い人が勝つとは限らない

すばらしい人が勝つとは限らない

“私はできる” そう考える人が結局は勝つのだ



「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

松浦 静山

「負けるときは、負けにつながる必然的な要因がある（不思議な点はない。負ける原因は自分の中にある）」しかし、「勝つときには、（どうして勝ったのかどうも思い当たらないという）不思議な勝ちがある」ということである。プロ野球の野村(元) 監督の名言として有名なことばです。試合だけでなく、学習、考査、検定、進路など自分との戦いにも全てに通じることばですね。